



生徒数326名

	男子	女子	合計
1学年	73	48	121
2学年	61	48	109
3学年	50	46	96

(篠栗北中HP (Facebook)) を公開中!!

## <感謝と共生>

福岡コロナ警報下

(10月1日~10月14日)

### ○10月1日(金)

#### 「88タイム」コース代表者決定

10月1日(金)「88タイム」コース内発表会で代表者を決定しました。昨年度から総合的な学習の時間には、「自ら問いをもって探究し、地域に発信する活動」をしています。コースの活動は「異学年齢集団の活動」・「地域貢献活動」です。文科省は「探究」を「問題解決的な活動が発展的に繰り返されていく一連の学習活動」と定義しています。つまり、探究学習において、最も大事なことは「生徒自ら学び始める」ことです。生徒自らの意思で何かを求め、自分の頭でじっくり考え、ひらめき、検証し、自分なりの答えを見つけていく、そのプロセスこそが探究学習です。



今年度は、コース内で個人発表をしました。「どうしよう。緊張する。」などの不安な中、一所懸命に発表した皆さんに拍手を贈ります。今回の「88タイム」が「自分にとって役に立ち、周りの人たちにとっても役に立ったのか」を、しっかり振り返りましょう。代表者に選ばれた人は、全校生徒へ向けた発表を頑張ってください。

今年度は、コース内で個人発表をしました。「どうしよう。緊張する。」などの不安な中、一所懸命に発表した皆さんに拍手を贈ります。今回の「88タイム」が「自分にとって役に立ち、周りの人たちにとっても役に立ったのか」を、しっかり振り返りましょう。代表者に選ばれた人は、全校生徒へ向けた発表を頑張ってください。

### ○10月4日(月)

#### 「ICT活用の授業」について、

#### 職員研修を実施

10月4日(月)「ICT活用の授業」についての職員研修を実施しました。以前、研究主任の園田教諭が行った提案授業をモデルに、「主体的・対話的で深い学び」のある授業を実現するために、どのようにICTを活用すればよいかを研修しました。



そもそもICTとは、思考のツールです。その目標の1つが、「分かりやすい授業の実現」です。ICT を効果的に使うことで、視覚や聴覚に訴えかける臨場感のある学びを実現できます。

もう1つが、「21世紀型スキル(能力)への対応」です。知識や情報をインターネットでいくらでも手に入られるようになった今、膨大な知識や情報の中から必要なものを主体的に選び取り、活用できる「情報活用能力」や「創造力」を身に付けることが大切です。

しかし、「一番の思考ツールは教科書である」ことは、今も変わりません。

### ○10月5日(火)

#### 「あおば学級」の授業参観を実施

10月5日(火)北勢門小学校の6年生と保護者の皆様をお迎えし、本校「あおば学級」の授業参観及び懇談会を実施しました。

特別支援教育の「支援」は、子供たち一人一人の特性はみんな違うという「子供の見方」から始まるといわれています。次に、一人一人を大事にした教育は、その子に応じた指導法(学習法)を考えることです。その一番の支援は日々の授業と捉えています。

来年度、この日に参観に訪れた6年生が「あおば学級」に入学してくれることを楽しみにしています。そのためにも、現あおば学級の生徒、入学する6年生と保護者の皆様の教育的ニーズに応えながら授業改善をしていきたいと思ひます。



### ○10月2日(土)・8・9日(土・日)

#### 糟屋区中体連新人大会の結果<敬称略>

陸上競技	<地区大会> ・男子共通 200m 惜敗(2年生竹崎) ・2年生男子 100m 惜敗(2年生竹崎) ・1年生男子 1500m 惜敗(1年生大場) ・2年生男子 1500m 惜敗(2年生松井) ・1年生女子 100m 欠場(1年生首藤)
卓球	・男子団体:惜敗 ・女子団体:ベスト8
バスケットボール	・男子バスケット:ベスト8 ・女子バスケット:ベスト8
女子バレーボール	・ベスト8
軟式野球	・惜敗
ソフトテニス	・男子団体ソフトテニス:惜敗 ・女子団体ソフトテニス:ベスト8 ※ソフトテニス連盟主催県大会 女子:中村・河野ペア 出場

新チームでの糟屋区大会は「楽しかった」ですか。今回、惜しくも陸上競技以外は地区大会出場ができませんでした。

まずは、夏季中体連に向け、【試合に負けても、勝負に勝つ】(結果は負けても、精神面、日頃のやるべきことや取組などの本質で勝ちに相当する)チームづくりから始めてほしいと思ひます。期待しています。

※裏面に続きます。

# 令和3年度篠栗北中学校 文化発表会

本日 10月15日(金) 令和3年度篠栗北中学校 文化発表会を実施しました。保護者の皆様におかれましては、福岡コロナ警報解除でありながら無観客での実施になりましたことを残念に思われていらっしゃるかと存じます。

さて、コロナ禍のようにVUCA(先行きが不透明で、将来の予測が困難な状態)の時代で、子供たちは生きています。その中で、よりよく生きていく(自分を幸せにして、他人も幸せにする)ための基盤づくりが学校です。

「自ら答えのない問いに取り組むこと、あきらめることなく多面的に・多角的に考えること、突破すること、仲間と力を合わせてやりきること、このような経験こそが子供たちの生き方や学び方を変え、生涯にわたり自分自身を支える力となる」と本校では考えております。

後ほど、今回の展示物や発表の様子をご覧ください、ご意見等をいただければ幸いです。どうぞご理解とご協力をよろしくお願いいたします。  
篠栗北学園 篠栗北中学校長

## 文化週間スローガン

# ツナグ

～ We can do it ～

「ツナグ」には、同学年、上級生、下級生の素晴らしい発表や作品をしっかりと見聞し、それをお互いに褒め合ったり認め合ったりすることで、篠栗北中学校の「生徒の心をつないでいきたい」という思いを込めています。

また、コロナ禍でも、今だからできる文化週間の方法を考えて、篠栗北中学校のこれまで続いてきた「伝統をつないでいきたい」という思いも込めています。

さらに、「We can do it」には、それらのことは私たち北中生なら必ず実現することができるという意味を込めています。

1年1組	1年2組	1年3組
<b>歩</b>	<b>花</b>	<b>結</b>
一人一人が一步一步成長できるような学級にしたいから。	全員が協力してひとつとなり、周りを明るい気持ちにさせる花のようになりたい。	絆を結びみんなで協力すると、どんなことも達成できると思うから。

2年1組	2年2組	2年3組
<b>応</b>	<b>笑</b>	<b>挑</b>
自分たちが臨機応変に対応することで、今までと違う文化発表会が成功すると思うから。	互いの努力や良さを認め合いながら、全員が楽しく笑顔で取り組めるようにするため。	「88タイム」の個人発表や弁論など、初めてのことや慣れないことにも積極的に挑戦していこう。

3年1組	3年2組	3年3組
<b>創</b>	<b>絆</b>	<b>蘇</b>
コロナ禍の新しい環境の中で、今までにない新しい文化発表会を自分たちで創りあげたい。	仲間と協力して絆を深め、皆の心をひとつにつなげ、文化週間を成功させるためにがんばろう!	体育会での感動や盛り上がり再び蘇らせることができるように取り組みたい。